

鷹取山自然観察会会報

2013.10.12 No.2

鷹取山の地質・地層

本多 久男

鷹取山は明治の初めから昭和の戦後まで鷹取石の石切り場として利用されていました。このため、鷹取山の石切り跡は垂直に切り落とされており地層の断面を観察することができます。特に山頂展望台へ登る東面や南面などの斜面は10メートル以上の垂直面があり観察することができます（写真1）。鷹取山の地層は三浦層群の池子層



写真1 展望台

といわれ、三浦層群の中では最も新しく280～440万年前の地層に分類されています。岩石等の地質は堆積岩で海底火山の噴出物が海底に堆積した凝灰岩に当たります。岩質は柔らかくもろい性質があります。現在、三浦半島周辺には火山はありませんが、ここに積もった堆積物はフィリピン海プレートに乗って辿り着いたもので280万年以前はずっと南の海上にあったものと想定されます。堆積した環境は海底火山の活発な時期で、堆積しているものは火山礫凝灰岩などで、写真で見られるような黒い砂粒のようなものは火山噴火時に堆積

したスコリア（火山噴出時の黒色・暗褐色の軽石のこと：写真2）とおもわれます。



写真2 スコリア

年代（万年前）	層 序	
1	沖積層	
	関東ローム層	
7	相模層群	
50	上総層群	野島層
		浦郷層
280	三浦層群	池子層
440		逗子層
1200		三崎層など
	葉山層群	矢部層、衣笠層など

図1 地層の層序

鷹取山の東部及び北部では三浦層群の上に堆積した上総層群というさらに新しい地層もみられ、この上総層群の最下層は浦郷層という名がついています（図1）。鷹取

山での三浦層群の地層の走向（傾いた地層と地表面が交差してできた直線の方角）は東西方向、傾斜（傾いた地層の角度）は北へ20°となっています。神奈川県東部では地層の年代は北側に行くに従って新しい地層となっています。

三浦層群池子層と上総層群浦郷層との間には不整合面（黒滝不整合）がみられ、堆積した時代に大きなずれが生じています。この不整合面は海で堆積した地層が海底の隆起などによって陸化し、侵食され、さらに海底に沈下して浸食面の上に新しい地層が堆積したときに、古い地層と新しくたまった地層の境界面のことをいいます。三浦層群の分布をみると東側は房総半島から西は藤沢市江ノ島でも見られます。

三浦半島には西北西から東南東走向の衣笠断層、北武断層、武山断層など三浦半島断層群と呼ばれる5本の活断層が発達しています。東日本大震災以降、三浦半島断層の歪が蓄積されており、政府の地震調査委員会は東日本大震災の影響で神奈川県の三浦半島活断層帯で地震が起きる可能性が高まったと発表しています。ひとたび活断層が動けばこのあたりでは震度6強以上の揺れがあるので地震に対する万全の備えは必要です。

（参考）上総層群の地層の特徴の一つはフミン質の堆積物が含まれており、この地層からは濃いコーヒー色をした重曹を含んだ冷鉱泉で、東京湾周辺や横浜綱島、金沢文庫あたりには黒湯温泉があります。茶褐色に着色した温泉は重曹成分を多く含んでいるため、入浴の感覚はぬるぬるして、浴後の肌はさっぱりすべすべという泉質をもっています。効能としては、きりぎり、やけど、慢性皮膚病などに効果があるそうです。

上総層群の特徴の二つ目は東京湾周辺に広がる地層付近では日本有数のメタンガスを産出する地域となっています。2007年に東京都渋谷区で発生した温泉施設の爆発事故は地下1000mからの汲み上げた温泉に混じったメタンガスの適正な処理を怠った大惨事でした。

鷹取山でみられる 珍しい樹木

鷹取山の植生は東京湾に近く、また、気候的には暖温帯の地域であり照葉樹林といわれるスダジイ、タブノキ、アラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、ヤブツバキなど常緑樹が多く、山を歩けば普通に見られます。そんな中でもこの地域をよく観察してみると時に珍しい樹木に出会うことがあります。ここでは、鷹取山では珍しい樹木の一部を紹介します。

カゴノキ

クスノキ科ハマビワ属の樹木です。カゴノキの特徴は樹皮にあり、色は黒く、白い鹿の子（かの子）の模様に剥げ落ちていきます。プラタナスの樹皮に少し似ています。暖地性の常緑樹で、沖縄まで広く分布していて、県内では県西部と三浦半島の一部で見ることができます。鷹取山周辺では、浜見台の近くの山道沿いに一本、確認しています。カゴノキは雌雄異株、花期は8月～9月に咲きます。葉は枝先に集まって互生して枝先に車輪状に集まってついています。葉身は長楕円形で全縁です。樹木板をつけてあります。



ムクロジ

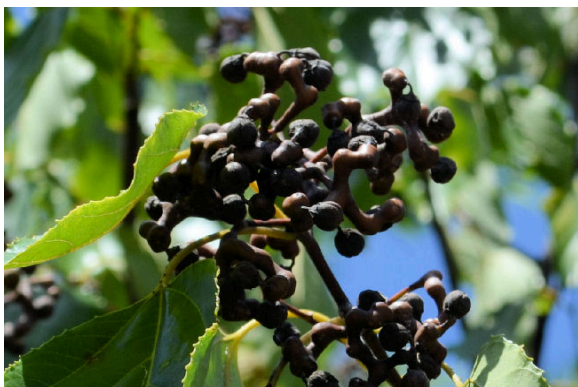
ムクロジはムクロジ科ムクロジ属の落葉高木です。鷹取山の頂上付近、神武寺方向への右下に見えます。樹木板もあります。6月頃花が咲き秋に実をつけますが、ムク

ロジの特徴はなんと言っても花よりも種にあります。果実の中には写真のように真っ黒なまん丸い種があります。ムクロジの木は、私の確認しているところ、このあたりではこの一本しかありません。浦郷町の正観寺のムクロジや鎌倉八幡様の近くの宝戒寺にあるムクロジは有名です。別名をセッケンノキとも言うように実にはサポニンという界面活性成分が含まれていて果肉を手ですり合せると石鹸のような泡が出てきます。



ケンポナシ

クロウメモドキ科ケンポナシ属の落葉高木です。6月頃、星型をした小型の白い花



が集散花序になって咲いています。大きな目立つ花ではないので注意して観察しないと見逃してしまいます。大きさは高さ15

m位になるそうですがこのあたりでは10mにも満たないものです。湘南病院から湘南鷹取住宅に入る斜面に1本と湘南鷹取2丁目に降りる階段付近にも見られます。ケンポナシの特徴は花よりも秋に膨らむ花柄にあります。秋には球形で黒紫色に熟し、膨らんだ果柄は甘味があって食べられます。これは民間では二日酔いに効くともいわれる。

ゴンズイ

ゴンズイはミツバウツギ科ゴンズイ属の落葉小木です。ゴンズイというと魚の種と混同してしまいます。樹皮が魚のゴンズイに似ているとか、役に立たない樹という理由からこの名がついています。花は黄白色で目立った花ではありませんが実は赤く熟すと中から黒い種子が顔を出してとてもきれいです。葉は対生して羽状複葉で2～5対の小葉があります。このあたりでは鷹取山周辺で何本か見ることができ樹木板もつけてあります。是非見つけて観察してください。



この他にも様々な樹木、草花が多く観察できます。観察会では季節ごとに見られる生き物の観察を通して自然の大切さを学んでいきたいと考えております。

HP：鷹取山の花と樹 <http://homepage3.nifty.com/takatoriyama/>

連絡先：世話人代表： 本多久男 e-mail：fwjg2350@mb.infoweb.ne.jp

tel：090-4177-0164

会報編集： 中村紀雄 e-mail：nakanori@cosmos.ocn.ne.jp

鷹取山樹木板リスト

番号	和名	科名	特徴	*
1	オオシマザクラ	バラ科	花は白い	2
2	キブシ	キブシ科	3月に淡黄色の花	
3	シロダモ	クスノキ科	秋に赤い実がなる	
4	トベラ	トベラ科	5月に匂いのある白い花	
5	ガマズミ	スイカズラ科	5月に白い花、秋に赤い実	
6	アオキ	ミズキ科	冬に赤い実	
7	クサイチゴ	バラ科	3月に白い花、5月に赤い実	
8	ケヤキ	ニレ科	4月に葉と同時に花が咲く	2
9	ハコネウツギ	スイカズラ科	白から赤に変わる花	
10	センダン	センダン科	春にピンクの花、秋に実をつける	
11	ニガキ	ニガキ科	枝や葉は大変苦い	
12	ニワトコ	スイカズラ科	3月に白い花、6月に赤い実	
13	ヤマグワ	クワ科	初夏に赤紫色の花	
14	アカガシ	ブナ科	ドングリが実る	2
15	タブノキ	クスノキ科	アオスジアゲハの食草	
16	ウラジロガシ	ブナ科	ドングリが実る	
17	ミズキ	ミズキ科	5月初めに白い花	
18	エノキ	ニレ科	ゴマダラチョウの食草	2
19	カラスザンショウ	ミカン科	アゲハチョウの食草	
20	クヌギ	ブナ科	丸いドングリ	2
21	マルバグミ	グミ科	海沿いでみられるグミ	
22	アラカシ	ブナ科	ドングリが実る	
23	ヤブニッケイ	クスノキ科	葉は独特の匂い	
24	イヌシデ	カバノキ科	春に花穂がたれる	
25	ウツギ	ユキノシタ科	梅雨時に白い花	
26	マルバウツギ	ユキノシタ科	5月初めに白い花	
27	キズタ	ウコギ科	冬に球状の花	
28	ムクノキ	ニレ科	秋に黒く甘い実	2
29	イタヤカエデ	カエデ科	プロペラ状の種をつける	
30	スダジイ	ブナ科	ドングリが実る	3
31	テイカカズラ	キョウチクトウ科	6月に白く芳香のある花	
32	マユミ	ニシキギ科	冬に赤い実をつける	
33	ヒメウツギ	ユキノシタ科	4月頃に白い花が咲く	
34	シバヤナギ	ヤナギ科	春に狐のしっぽ状の花	
35	ムクロジ	ムクロジ科	種は丸く黒い	
36	サネカズラ	マツブサ科	秋にイチゴ状の赤い実	
37	アカメガシワ	トウダイグサ科	新芽が赤い、雌雄異株	2
38	イタビカズラ	クワ科	イチジクの仲間	
39	ヌルデ	ウルシ科	夏に白い花を多くつける	
40	オオバイボタ	モクセイ科	5月に白い花、冬に黒い実	
41	ヤツデ	ウコギ科	冬に白い球状の花	
42	ツクバネウツギ	スイカズラ科	4月に黄白色の花	
43	ヤマブキ	バラ科	4月に黄金色の花が咲く	
44	ハリギリ	ウコギ科	ヤツデ様の花、大きな刺がある	
45	オニシバリ	ジンチョウゲ科	2月に淡黄色の花、夏に赤い実	
46	ウグイスカグラ	スイカズラ科	3月に淡紅色の花	
47	コゴメウツギ	バラ科	4月に白い小さな花	
48	コナラ	ブナ科	樹液にヒカゲチョウなどが集まる	3
49	イヌザクラ	バラ科	4月下旬小さな白花を多数つける	2
50	エゴノキ	エゴノキ科	5月頃白い花、秋に灰白色の実	
51	イヌビワ	クワ科	イチジクの仲間です小さな実をつける	
52	キハギ	マメ科	萩の仲間	
53	ソメイヨシノ	バラ科	エドヒガンとオオシマザクラの雑種	
54	ヤブツバキ	ツバキ科	花にはメジロなど野鳥がくる	
55	ニシキギ	ニシキギ科	秋に赤い実をつける	
56	アセビ	ツツジ科	早春に釣り鐘状の花を咲かせます	
57	ゴンズイ	ミツバウツギ科	秋に紅の袋の中から黒い実	2
58	アオダモ	モクセイ科	4月下旬に白い綿毛のような花	
59	ムラサキシキブ	クマツツラ科	6月に紫色の花、秋に紫色の実	
60	カマツカ	バラ科	4月下旬にコデマリののような白い花	2
61	カゴノキ	クスノキ科	樹皮が鹿子模様に見える	
62	ツルグミ	グミ科	花は冬、実は4月頃に赤く熟す	
63	コマツナギ	マメ科	夏に淡紅色の花	
64	ヤマハゼ	ウルシ科	ロウが取れる	
65	コクサギ	ミカン科	アゲハチョウの食草	
66	クサギ	クマツツラ科	葉には独特な臭い、夏に花	
67	コウゾ	クワ科	和紙の原料、4月に球状の花	

前号で樹木板設置に関して報告しましたが、樹木のリストを掲載できませんでした。ここに掲載いたします。その後、表よりもさらに樹木板を増やしました。また樹木名だけを記した楕円形プラスチック名札も取り付けてみました。気がついた事など連絡下さい。

